

情 報 公 開 文 書

研究の名称	急性膵炎に伴う局所合併症に対する診療の実態調査研究
受付番号	4455
研究機関の名称	兵庫医科大学
研究責任者	肝胆膵内科 准教授 塩見英之
研究の概要	<p>【研究対象者】 岐阜大学、近畿大学、順天堂大学、東京大学、兵庫医科大学、富山大学で2010年1月1日から2022年12月31日に急性膵炎の局所合併症に対する治療を受けた患者さん。</p> <p>【研究の目的・意義】 急性膵炎後に起こる局所合併症である膵周囲液体貯留は感染を伴い、時に生命に関係するような重篤な合併症です。急性膵炎全体の予後は改善しつつありますが、局所合併症をきたした症例の予後は十分とはいえません。近年、内視鏡を用いたドレナージなど新たな治療方針も提唱されつつありますが、統一した治療方針が確立されている状況ではありません。予後を改善するためには、現在の診療における問題点を明らかにする必要があると考えています。</p> <p>【研究の方法】 全国多施設における診療方針のアンケート調査を行います。アンケート調査の中には共同研究機関において治療に難渋した症例を提示し、実際にどのような方針で対処しているかを問うような設問も含む予定です。</p> <p>【研究期間】 2023年8月28日 ~ 2024年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 全国学会および論文発表を予定しています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法他機関への提供の有無	病歴、血液検査所見、画像データなどを匿名化し、アンケートの設問として用います。共同研究機関での症例については匿名化し、個人情報を含まない形に加工したものを提供してもらう予定です。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>岐阜大学医学部附属病院 病院長 秋山治彦</p> <p>近畿大学病院 病院長 東田有智</p> <p>順天堂大学医学部附属順天堂医院 病院長 高橋和久</p> <p>東京大学医学部附属病院 病院長 瀬戸泰之</p> <p>兵庫医科大学 学長 鈴木敬一郎</p> <p>富山大学附属病院 病院長 林 篤志</p>
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 第三内科 安田一朗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話：0798-45-6472</p> <p>FAX：0798-45-6474</p> <p>E-mail：yt-kawase@hyo-med.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名：兵庫医科大学 肝胆膵内科 川瀬雄太</p>

